

## 巻頭言

### 会報第14号2報の発刊にあたって

日本医療秘書実務学会 常任理事・事務局長 山本 智子  
(川崎医療福祉大学)



連日、熱中症注意の報道がなされているこの頃です。皆様、お変わりなくご活躍のことと存じます。

さて、4月から、田村久美事務局長に代わり、事務局長を拝命しました。田村事務局長には、2012年4月～2024年3月までの12年間大役をお引き受けいただき、学会運営にご尽力いただきました。この場をお借りして、深くお礼申し上げます。ありがとうございました。

思い返せば、2009年に、島名正英先生、中村健壽先生、田中伸代先生と私で、教育者と実務者が切磋琢磨できる学会を立ち上げよう、医療秘書について学際的に研究できる体制を作ろうと立ち上げてから、15年が経過していました。田中会長をはじめ会員の皆様、役員の皆様のご尽力のおかげでここまで歩んでくることができたこと、感無量の思いです。

しかし、この学会も少子高齢化による医療秘書を目指す若者の減少や、新しく医師事務作業補助体制加算の創設など、医療秘書を取り巻く環境の変化の影響を受け、どのように学会活動を継続していくか模索中です。

このような変革の時代だからこそ、将来求められる医療秘書像を究める学会活動が必要なのかもしれません。

そこで、これまでの活動全般を一度見直し、持続可能な学会活動になるよう、再構築を試みる必要があると考えています。

会員の皆様から、いろいろなご意見をいただきながら、よりよい学会活動にして参りたいと思います。ぜひともご意見やアイデアを事務局までお寄せ下さい。非力ではありますが、任務を全うできるよう事務局運営に邁進したいと思いますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

また、今年は11月23日に、全国大会を会場開催で行います。ぜひともご参加下さい。晩秋の倉敷でお待ちしております。



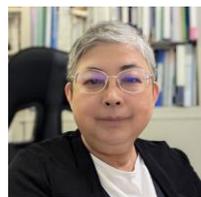
## 目次

巻頭言 .....	1
第15回全国大会のご案内 .....	2
2023年度 各種委員会の活動報告とお知らせ .....	3
学会員を募集しています .....	4
学会員の紹介 .....	5
事務局からのお知らせ .....	7
年会費納入のお願い .....	7
学会への届出について .....	7
編集後記 .....	7

# 第15回全国大会のご案内

大会運営委員長 田中 伸代

(川崎医療福祉大学)



日本医療秘書実務学会は、第15回全国大会を下記の通り開催いたします。現在のところ、対面での開催を予定しております。

今大会では、急速に変化する医療環境において、医療秘書・医療機関の事務職員がいかにかにスキルを更新し、新たな価値を創出していくかを多角的に探ります。医療のデジタル化が加速する中、医療秘書には従来の役割に加え、新たなスキルや知識が求められています。本大会を通じて、皆様が自身のキャリアを見つめ直し、今後の方向性を考える機会となれば幸いです。会員の皆様におかれましては、奮ってご発表・ご参加くださいますようお願い申し上げます。



## 開催概要

### <大会テーマ>

「変革の時代に挑む - 医療秘書のリスキリング」

日時：2024年11月23日（土・祝）

会場：川崎医療福祉大学 本館棟6階（岡山県倉敷市松島288）

参加費：正会員・法人会員（1人あたり）2000円 学生会員 1000円

非会員（一般参加）5000円 非会員（学生）2000円

### <プログラム概要>

1. 基調講演：「2040年に向けたわが国の医療政策」

川崎医療福祉大学 医療福祉経営学科 特任教授・岡山大学名誉教授 浜田 淳 先生

2. 教育講演：「リスキリングによる自己変革のすすめ」

PMイノベーションオフィス51 代表・PMI認定PMP® 勝連 城二 様

3. 研究発表

会員の皆様の研究発表の場です。発表10分、質疑応答5分で設定しています。

### <申し込み>

参加・演題：学会バンクのイベント情報ページよりお申し込みください。

(<https://gkb.jp/visitor/seminar/218>)

昼食：大会当日は学内の施設（売店・販売等）が休業しております。学外の昼食可能な場所も限られるため、別途お申し込みいただくように設定しています。

([https://gkb.jp/misc\\_payment/jsams/2Zx3dnE2qr56NVWm](https://gkb.jp/misc_payment/jsams/2Zx3dnE2qr56NVWm))

皆様のご参加を心よりお待ちしております

# 2023年度 各種委員会の活動報告とお知らせ

## 学会賞選考委員会

委員長 内山伊知郎（同志社大学）

委員 小林利彦（白梅ケアホーム） 西川三恵子（九州共立大学）  
山本智子（川崎医療福祉大学） 大塚 映（BSCM 総合研究所）  
中村則子（香蘭女子短期大学） 田村久美（川崎医療福祉大学）

2023年度の学会賞選考は6名の委員体制で実施いたしました。今年度も科学的に医療秘書実務を検討した論文が掲載されています。学会賞選考審査の結果、その中から研究ノート1本、実践報告1本の合計2本が奨励賞として選ばれました。全体的に優秀な研究ですが、これらの論文はとくに今後の更なる発展が期待されます。

今後も引き続き、医療秘書実務の研究が積み上げられ、学会の研究水準が高まるように、よろしくお願い申し上げます。



## 論集編集委員会

委員長 小林利彦（医療法人社団白梅会）

委員 田中伸代（川崎医療福祉大学） 大塚 映（BSCM 総合研究所）  
園田美樹（熊本医療センター） 西山良子（関西女子短期大学）  
田村久美（川崎医療福祉大学）

2023年10月から「医療秘書実務論集」編集委員会の委員長を拝命しました小林利彦です。本学会誌は、医療秘書の実務や教育等に関わる論文、研究ノート、実践報告、資料、書評などを寄稿する場として位置づけられ、これまでに年1回の発刊を（2011年から）14年間にわたり継続してきた貴重な学術書であると自負しています。しかし、2020年以降、新型コロナウイルス感染症の蔓延にともない、全国大会の開催規模縮小やウェブ化なども影響して、実務者からの発表件数が著しく少なくなり、そのことが本学会誌への寄稿件数にも大きく影響してきています。実際、2024年初頭に発刊した第14号は、最終的に掲載論文が1編という寂しい結果になってしまいました。

上記については、直ぐに解決できるものでもないでしょうが、編集委員会として現在、以下のようなことを考えています。

- 1) 全国大会の開催時期に関係なく随時投稿論文を受け取る。
- 2) 編集委員会を年2-3回開催して、投稿論文への査読対応等を迅速に行う。
- 3) 年1回の出版は継続するが、途中オンライン掲載によるウェブ対応も検討していく。

いずれにしても、論文が集まらないことには学会誌としての体をなしません。今後、学会本部でも、学会発表や論文執筆等に資する教育および研修会などの機会を設けてくれると思いますが、まずは直属の上司とも相談をして、実務者が経験・体験した知見などを文字に起こし、人前で話すところから始めてみませんか？

学会本部だけでなく、学会誌編集委員会の方でも皆さんを応援したいと思っています。



## 広報委員会

委員長 土井有美子（中国中央病院）  
委員 田中恵子（ミッションウィル） 早田真樹（福岡医健・スポーツ専門学校）  
武村順子（宮崎学園短期大学） 上野節子（倉敷平成病院）

2023年度の広報委員会は5名で活動を行い、会報誌を12月、7月の2回発刊いたしました。第1報では、第14回全国大会の様子を中心に、第2報では第15回全国大会のご案内、委員会活動報告、学会員の紹介等を掲載しております。

会員外の方へも広く広報できますよう、公開して差し支えない範囲で一部を抜粋しホームページ上で公開いたしております。今号より、最終ページに当会公式FacebookのQRコードを掲載いたしました。ぜひアクセスしてみてください。第14号の会報誌でも、多くの方々に原稿のご執筆を賜りました。委員一同心より御礼申し上げます。会報へのご意見、ご感想等がございましたらご遠慮なく学会事務局までお知らせください。

## 企画委員会

委員長 河原秀明（しげい病院）  
委員 森 靖之（高松短期大学） 大場さわこ（サンフラッシュ大場さわこ事務所）  
直江一彦（蓮田病院） 仁宮 崇（中国短期大学）  
大木啓太郎（音羽記念病院） 上野節子（倉敷平成病院）

学会の活動方針や具体的な企画内容について議論しています。その中で企画委員会での研修として現場実践的なものを軸に2024年度も開催したいと考えています。

開催頻度は年2～3回を計画し、オンラインで予定しております。医療秘書や医師事務作業補助者、医療機関の事務職、教育者、研究者、また希望する学生などが集まり、医療秘書業務に関する実務対応、マネジメント、教育指導などについて議論する場を提供していきたいと考えておりますので、テーマや講師の希望がありましたら、お気軽に学会事務局<office@jsams.jp>までリクエストお待ちしております。

## 学会員を募集しています

本学会では、医療秘書、あるいは広く医療事務に関心を持つ医療機関の実務者の方々、教育者・研究者の方々のご参加をお待ちいたしております。

### 実務者の方々

- ★ 医療機関で、医療秘書、医師事務作業補助者、あるいは医療事務に従事している方、関心のある方
- ★ 医療機関で、医療秘書、医師事務作業補助者、あるいは医療事務の教育、指導をしている方
- ★ 今後、医療秘書を目指そうとしている方
- ★ 医療秘書、医師事務作業補助者、あるいは医療事務の能力開発に関する情報を求めている方
- ★ ホスピタリティや接客対応マナーの能力の向上に関する情報を求めている方

### 教育・研究者の方々

- ★ 大学・短期大学・専修学校などにおいて医療秘書、医師事務作業補助者、あるいは医療事務の教育・指導に携わっている方
- ★ 医療秘書、医師事務作業補助者、あるいは医療事務の能力開発、指導方法、ホスピタリティや接客対応マナーなどに関する教育・研究に関心のある方
- ★ 医療秘書、医師事務作業補助者、あるいは医療事務に関する情報を求めている方

## 会員特典

- 本会が主催する全国大会などで研究や、実践の成果を発表できます。
- 本会が主催するワークショップや研修会に参加できます。
- 機関誌『医療秘書実務論集』に論文や報告などを投稿できます。
- 『医療秘書実務論集』を無料送付します。
- 学会員の方は、メディカルオンライン上の学会誌を無料で閲覧できます。
- 『会報』を配信します。

## 会費

- (1)正会員 6,000円
- (2)学生会員 3,000円
- (3)賛助会員（団体）一口 10,000円
- (4)法人会員 一口 20,000円

学会を通して  
私たちと一緒に  
学びませんか



## 学会員の紹介

### 日々変化し続ける医療秘書（医師事務作業補助者）業務

～新しい目線で医療現場を支援する～

上野 節子（倉敷平成病院）

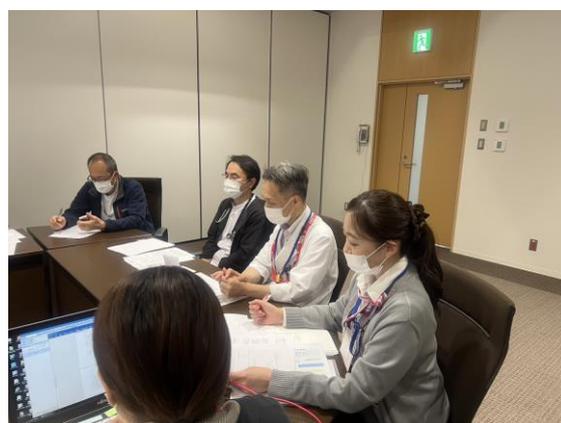
社会医療法人 全仁会 倉敷平成病院（以下当院）は、岡山県倉敷市中心部に位置する220床の総合病院で、脳神経内科、脳神経外科、整形外科等を有します。また認知症疾患医療センターやニューロモデュレーションセンター、生活習慣病センター、総合美容センター、脳ドックセンター、2024年7月1日には新たにスポーツリハビリテーションセンターが設立されるなどセンター化による特化治療の確立も図っています。さらに、医療から介護への連携として、倉敷老健や倉敷在宅総合ケアセンターをはじめ、ケアハウスなどの在宅支援サービス、住宅型有料老人ホーム「ローズガーデン倉敷」、グループホームや地域密着型特別養護老人ホームを含む複合型介護施設「ピースガーデン倉敷」、サービス付き高齢者向け住宅「グランドガーデン南町」を整備しています。

当院における秘書課/医療秘書課の業務は、外来診療補助（脳神経内科、脳神経外科、整形外科、脳卒中内科、循環器内科、内科、呼吸器科、糖尿病代謝内科、和漢診療科）、病棟回診（脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科）、書類代行作成 全科対応（診療情報提供書、年金診断書、自立支援診断書、身体障害診断書、警察や保険会社からの回答書、公安委員会診断書、介護保険主治医意見書、健康診断書、各種生命保険診断書、傷病手当診断書、事故診断書等様々）、サマリー代行作成、レジストリー登録（脳神経外科、整形外科、形成外科）、薬剤使用成績調査の登録、当直表作成、返書管理、医師のインシデント登録、医師のアポイントやスケジュール管理、救急に関する医師の調整、外部医師との連携、院内委員会活動等、臨床から管理まで幅広く活動しています。



※後列左から2番目が筆者

私は、上記の業務に加えて、脳神経内科/認知症疾患医療センターのリーダーも兼務しており、脳神経内科の新治療薬が導入される際には、院内での勉強会の開催やマニュアルの作成、UML（Unified Modeling Language）を使用した業務フローを作成し、院内全体の業務の流れを可視化しキックオフ会議を開催するなど、医師や看護師、薬剤師をはじめ他部署と連携しながら行う業務において、統一した認識をもつことで業務が滞りなく遂行できるよう業務フローを作成し、早急に治療が導入できるよう努めています。つい最近では、2023年12月に認知症新治療薬「レカネマブ」が日本で承認され、認知症疾患医療センターとして、エーザイ（株）さんとの話し合いと連携を重ね、また倉敷中央病院さんとのPET検査の連携等、院内だけでなく外部との渉外活動も行い、治療開始にあたり地盤を固める段取りを行い、院内全体のキックオフ会議へ繋げることができました。その成果もあり2024年4月に導入予定のところを、前倒して3月より治療導入を開始することができました。

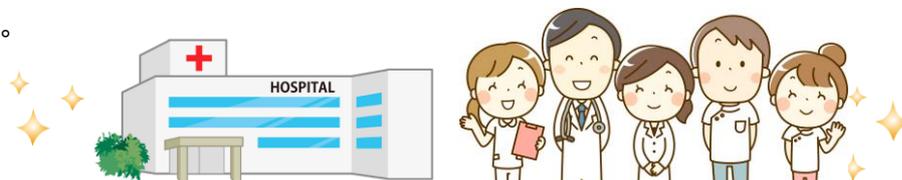


また、秘書課/医療秘書課としての教育に関しては、2024年1月より独自のキャリアラダーを作成し、新人への教育体制の強化を図る目標を掲げました。まずは臨床と書類業務のレベル値を可視化し、レベル設定を行いました。指導を受ける側も指導する側もレベルに向かう意識を統一することができるため効果を感じています。しかしながら、この独自のキャリアラダーに関してはまだ改善や検討が必要であり、今後も新たに展開していくべきと考えています。

更に、2024年度より医師の働き方改革の新制度が始まり、病院の質改善活動を支援する病院機能評価等において、今後ますます医療秘書に期待される業務が多くなってきています。当院でも医師の代行業務を行える医療秘書に対して、他部署より依頼される業務も増えてきている状況です。

このように、新治療薬の開始や医療制度の改革等で、医師の近くにいる医療秘書が、臨床と管理業務を行える立場において、これからの未来の医療の改革に新しい目線と考動力をもち、院内の重要なポジションに在ることを意識し活躍していくべきと考えます。多職種連携なくしては業務が遂行できない医療現場において、上記のような取り組みを行うことでチーム医療が円滑となり、よりよい医療を患者さんへ提供でき病院の体制も向上していく相乗効果が得られると考えます。

先見の目と考動力をもてるよう、業務の習得だけでなく人間力の指導育成にも力を注いでいきたいと思えます。



## 事務局からのお知らせ 年会費納入のお願い

2024（令和6）年度、また今年度以前からの年会費納入をお忘れになっていませんでしょうか。学会関連のお知らせ等の発行や送付は、学会員の皆様が納めていただく年会費によりささえられておりますので、未納の方はすみやかに下記口座宛に振込みをお願いいたします。または、学会バンクのマイページよりご送金ください。

また、年会費を2年間未納の方は、会則第8条2により自然退会となります。なお、自然退会となりましても、退会までの年会費のご入金をお願いいたしますので、ご注意ください。

### 【年会費振込み先口座】

中国銀行 川崎学園出張所

口座番号 1294871

日本医療秘書実務学会（ニホンイリョウヒシヨジツムガツカイ）

## 学会への届出について

ご都合により退会をご希望の方は、退会手続きをお願いいたします。日本医療秘書実務学会のホームページ上部「入会手続き」内に「退会届」の書式がございますので、記入・捺印のうえスキャンしたデータを事務局宛にメールでお送りください。

QRコードから  
ホームページが開けます。



## 編集後記

この度の会報発行に際し、ご執筆いただいた方々にお礼を申し上げます。

さて、ご存じの通り、この度の診療報酬改定は6年に1度のトリプル改定となり、実務学会員の皆様の日々のご苦勞は、如何ばかりかとお察しいたします。教育機関においても、教材の手直しや早見表の買い替えなど、学生の「えーっ」を遮りながら、日々の教育を進めております。

医療業界が、専門職人材のみの力で運営がなされているという価値は、遠く古いものです。日々の皆様のご苦勞が社会にアピールされる場として、この学会をご活用ください。全国大会のご案内も掲載しております。奮ってのご参加を心よりお待ちしております。



広報委員長 土井有美子（中国中央病院）  
広報委員 早田真樹（福岡医健・スポーツ専門学校）  
田中恵子（ミッションウィル）  
武村順子（宮崎学園短期大学）  
上野節子（倉敷平成病院）

日本医療秘書実務学会『会報』第14号2報／2024年7月31日発行



学会公式 Facebook



〒701-0193 岡山県倉敷市松島 288

川崎医療福祉大学医療秘書学科内

<https://jsams/wp/>

E-mail: [office@jsams.jp](mailto:office@jsams.jp)